

株式会社新来島どっく



国内最大級の造船ネットワークで多種多様な船舶を建造
新造・修繕の幅広い対応力で、洋上風力発電への展開に期待

想定分野 基礎製造(浮体式) ▶ 浮体構造物
船舶 ▶ 洋上支援船建造・船舶修繕



環境に配慮した造船にも挑み、次世代の海事産業を支える

瀬戸内を中心とした国内最大級となる拠点数を活かし、バルクキャリアから自動車運搬船、ケミカルタンカーといった専用船まで、多種多様な船舶の建造を通して世界の物流に貢献。新造船、修繕船、船用製品、技術設計の事業を展開し、豊富な経験に基づく確かな技術力で、クライアントのあらゆるニーズに応えてきた。最大15万tまでの建造が可能な大西工場をはじめ、グループ全体で新造船建造拠点は6拠点9ドライドック・船台。修繕拠点は5拠点9ドック。設計から建造に至る全ての工程に

において、最新の合理化設備と高度な技術を駆使し、多種多様で高品質な船舶を建造している。グループ累計建造隻数3066隻(2024年3月時点)という世界トップクラスの建造実績をはじめ、温室効果ガス削減につながるLNG燃料船の建造も開始し、SDGsを見据えた未来につながる造船を目指す。洋上風力発電の分野では、浮体式構造物の建造、それに関わる作業船の新造及び修繕の可能性が検討されている。

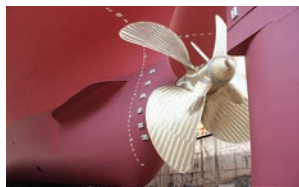
採用実績・施工例

国内初の大型LNG燃料自動車運搬船



国内造船所で建造された初の大型LNG燃料自動車運搬船が、日本船舶海洋工学会の「シップオブザイヤー2020」を受賞した。全長約200m、車両を約7000台積載できる大型船で、LNG燃料化によりCO₂排出量は2008年をベースに40%以上削減している。

多種多様な船舶の建造を可能とする技術力



大型船から小型船まで幅広い船型に対応、中手造船所で最大の特許出願数を有する。これまでに省エネを実現する船首構造や作業性向上につながる船舶ブロック構造、抵抗を抑制するトンネルフィンなどさまざまな観点から技術開発に挑み、1993年1月1日から2024年4月30日までで451件の特許を出願。

主要設備機械

- 製造拠点:グループ全体で新造船建造工場6拠点(大西、広島、波止浜、豊橋、高知、水島)
- 大西工場(愛媛県今治市):ドライドック/3基(最大367m×47m×10m、他2ドック)、300tクレーン 6基
- クレーン:グループ全体で10tから1,200tまで吊り上げ可能な大型クレーンを保有
- プレス機:グループ全体で約3000tまでの鋼板のプレスが可能なプレス機を保有

会社情報

事業内容/各種船舶の建造、修理及び解体、船舶用機器並びにその他諸機械の製造及び修理
所在地/〒799-2293 愛媛県今治市大西町新町甲945
設立/1987年5月 資本金/17億3,750万円 従業員/810名
代表者/代表取締役社長 森 克司
事務所/今治、東京、大阪、福岡
担当/総務部 TEL/0898-36-5511
E-mail/shinkurushima@skdy.co.jp
URL/https://www.skdy.co.jp/